

2020年6月1日

骨粗鬆症性椎体骨折の治療を受ける患者さんへ 【治療データ/検体（骨髄液）の調査研究への使用のお願い】

社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック脳神経外科では「骨粗鬆症性椎体圧迫骨折における骨髄液中サイトカイン濃度の検討」という臨床研究を行っております。この研究は、疼痛をコントロールするための治療方法を調べることを主な目的としています。そのため、骨粗鬆症性椎体骨折の治療を受ける患者さんのカルテ等の治療データ/検体（骨髄液）を使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は社会医療法人宏潤会大同病院倫理審査委員会で審査され、院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。

2020年8月1日～2020年7月31日まで

- 今回の調査研究の対象は骨粗鬆症性椎体骨折の手術を受ける患者さんのカルテ等の治療データ、検体（骨髄液）です。
- 通常の治療の過程で得られた治療データ/検体（骨髄液）を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニックに帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック脳神経外科の自主研究であり、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先までご連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック 脳神経外科 部長

研究責任者：中島 康博

T E L : 052-611-6261(代)

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

